

「隈之城小学校の隈之城地区の史跡巡りの取組」

1. 学校名	薩摩川内市立隈之城小学校
2. 学年・人数	第6学年 123名
3. 日時・場所	(1) 日時 令和7年5月2日（金） 8：40～14：15〔昼食・休憩含む〕 (2) 場所 隈之城地区内にある史跡のうち5か所
4. 活用に取り組んでいる史跡の名称・時代・特徴について	(1) 森殿原の宝塔 平安末期から鎌倉初期にかけて、この一帯を支配した平姓薩摩六郎直忠夫妻の墓であると推定される。 (2) 殿様籠置き石 薩摩街道沿いで、江戸時代の参勤交代の休憩場所があり、殿様の籠を置いたと伝えられている石が灯籠になっている。 (3) 二福城 二福城は別名隈之城といわれ、平安末期から鎌倉初期にかけて薩摩氏が、そのあと島津氏、入来院氏、再び島津氏と城主が変わり、江戸時代初期に廃城になった。
5. 活用の取組において地域との連携や工夫した点等	ふるさと・コミュニケーション科の時間（総合的な学習の時間）に、隈之城地区コミュニティ協議会が作成した「隈之城の歴史と文化財」を活用して、事前学習を行った。また当日は、薩摩川内郷土史研究会の会長さんに、ボランティアガイドとして帯同をお願いし、一つ一つの史跡や文化財について、現地にて詳しく説明していただいた。後日、各学級でグループごとに調べたことについて発表会を行った。
6. 取組の様子（研究発表等）	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>森殿原の宝塔の見学</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>春日神社境内での説明</p> </div> </div>
7. 感想・意見（参加児童生徒・保護者・保存会・教員等）	隈之城地区内には、30を超える史跡や文化財が点在している。その中でも、学校から徒歩で移動できる範囲で史跡巡りを行った。資料から学ぶだけではなく、実際にそこに赴いて調べることを通して、本地区が近世に至るまで川内地方の政治・経済・文化の発展に大きく関わっていることを知ることができた。今後も、地域に残る古き良き歴史や伝統を大切に継承していきたい。